
必ずお読みください。VR-X8500 第2版

取扱説明書に記載されていない最新情報および注意事項について記載しています。

【取扱説明書の訂正】

[1] 取扱説明書（設置編）p.37の訂正

対応ネットワークカメラ一覧表でVN-H678シリーズのスピーカーが非対応の記載になっていますが、スピーカーも使用可能です。

[2] 取扱説明書（操作・設定編）p.58の訂正

「ビューワー“Smart Client”で作成したビュー情報は保存されません。」と記載していますが、ビュー情報も保存／復元が可能です。

[3] 取扱説明書（操作・設定編）p.74の訂正

表「グループとビューの構造について」の共有フォルダの説明において「このフォルダ内のビューは、システムにアクセスできるすべてのパソコンユーザーからアクセス可能です。」と記載していますが、「役割」設定の「ビューグループ」にてユーザーグループごとに権限を設定可能です。

【VR-X8500本体の注意事項】

[1] Smart Clientのビュー設定に関するご注意

- ・Smart Clientでビューを作成する際、「共有フォルダ」に作成することにより、複数のユーザーでビューを共有できます。
共有フォルダについては「取扱説明書（操作・設定編）p.74」を参照してください。

[2] 設定内容を保存（バックアップ）する場合のご注意

- ・Management Clientにて設定を保存する場合は、必ず保存作業前に基本ユーザーを作成してください。
本機の仕様上、弊社サービス窓口による故障修理の際、設定の保存作業前に作成した基本ユーザーのアカウント情報が必要となります。
よって、基本ユーザー未作成の状態設定を保存した場合、本機故障修理の際に設定データが復元不可能となる場合があります。
お客様の大切な設定データを守るために、保存作業前に基本ユーザーを作成してください。
なお、基本ユーザーの作成手順は「取扱説明書（操作・設定編）p.52」を参照してください。

- ・設定内容のバックアップは、こまめに保存することを推奨します。

[3] 設定内容を復元する場合のご注意

- ・設定復元時には記録が停止する期間（※数十秒～数分など）が生じますので、ご注意ください。

[4] VR-X8500を複数台使用する場合のご注意

- ・マスタースレーブによる統合表示機能は非対応です。
複数台のVR-X8500の統合表示が必要な場合は、TZ-TS200/2000の導入をご検討ください。
- ・VR-X8500から別のVR-X8500にManagement ClientやSmart Clientで接続するためには、別途ご案内する設定が必要です。
詳細については、お買い上げ販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

[5] システム変更時のご注意

- ・システム変更（設定変更、ハードウェアの交換、ハードウェアの追加など）を行なった場合は、最後にVR-X8500本体を再起動して作業を終了してください。
Management Clientの終了後、3分以上経過してからVR-X8500本体の再起動を行なってください。
ハードウェアの交換を実施した際は、Smart Clientにて録画データが完全に移行したのを確認してからVR-X8500本体の再起動を行なってください。

[6] モニター解像度変更時のご注意

- ・モニター解像度を低い解像度に変更した場合は、Management Clientが正しく表示されない場合があります。
解像度変更時は、Management Clientの「ビュー」メニューの、「アプリケーションレイアウトのリセット」を行い、Management Clientを再起動してください。

[7] 複数モニター（デュアルモニター／トリプルモニター）接続に関するご注意

- ・VR-X8500を起動した状態でモニターケーブルを抜き差しすると、不具合が生じることがあります。
モニターケーブルを抜き差しする際は、VR-X8500をシャットダウンしてください。
設定作業時など、VR-X8500を起動した状態でモニターケーブルを抜き差しした場合は、作業完了後に必ずVR-X8500を再起動してください。
- ・Smart Clientを起動した状態でモニターの電源をOFF/ONすると、Smart Clientの動作が不安定になることがあります。
モニターの電源はONのまま運用してください。また、モニターの電源をOFFする場合は、Smart Clientを終了してからOFFにしてください。

【JVCカメラを使用する場合のご注意】

[1] 登録方法について

ハードウェアデバイス追加の際、プロトコルは「HTTP(安全ではない)」を選択してください。
また、ONVIFカメラの場合、ユーザー名/パスワードをあらかじめ追加してください。

[2] VN-H58/258R/258VPR/158WPR （以下VN-H58シリーズと記載します）

- ・カメラ側の時刻設定は、VR-X8500にカメラを登録する前に行なってください。
カメラがVR-X8500に登録されている状態でカメラ側の時刻設定を変更する場合は、VR-X8500のRecording Serverを停止した後に変更してください。
Recording Serverの停止方法は以下を参照してください。また、時刻設定を変更後はRecording Serverを起動してください。

Recording Serverの停止方法：

1. タスクバーの[Milestone XProtect Recording Server - Running]アイコンを右クリック
2. [Stop Recording Server Service]をクリック

・音声のコーデック名は下記で表示されます。

G.711 : PCMU
AAC : MP4A-LATM

・Management ClientではJPEGの品質（画質）設定範囲は、0～100です。一方、カメラWebでは6段階であるため、当該カメラの設定範囲は0～60が割り当てられています。よって、Management Clientで60を超えた数値を指定しても、カメラWebでは最高画質の6になります。

・VN-H68等のONVIFドライバーで動作するカメラを、同一IPアドレスのVN-H58シリーズに入れ替える場合は、以下の手順で実施してください。

1. 「ハードウェア削除」にて、旧カメラを削除（※録画データは削除されます。）
2. 新カメラを登録後、メディアサービスを「media2」に変更
3. 「ハードウェアの交換」を自カメラに対して実行
4. 【VR-X8500本体の注意事項】[5]に従い、VR-X8500本体を再起動

[3] VN-H678WPR/678WPC/678WPRS （以下VN-H678シリーズと記載します）

- ・音声出力（レコーダー→カメラ）を使用する場合、スピーカーの設定タブでストリーミング方式“RTP/RTSP/TCP”を選択してください。
- ・プリセットポジション名は英数字を使用してください。日本語のプリセットポジション名を設定したプリセットポジションは動作しません。
- ・Milestone Mobileでのズームイン/ズームアウト動作は自動で停止しません。プリセットポジションでの操作を推奨します。
- ・JPEG使用時、カメラのエンコード設定の、フレームレートが「30」に固定される場合がありますが、VR-X8500上では設定どおりのフレームレートで表示します。
- ・Smart Client/Web Clientにてズーム操作時、ボタンを押す時間が短いと、Tele端/Wide端までズームが移動することがあります。この場合は、ズームボタンを少し長めに押すようにしてください。またはTZ-TS200/2000や、カメラのWeb Viewerを使用して制御してください。カメラのWeb Viewerについては、VN-H678シリーズの取扱説明書を参照してください。

[4] VN-H68/168WPR/268R/268VPR/U78/U178WPR

- ・ハードウェアデバイス追加の際、事前にONVIFをONに設定してください。
- ・音声出力（レコーダー → カメラ）は使用できません。音声出力が必要な場合は、TZ-TS200/2000の導入をご検討ください。
- ・デジタルPTZを使用する場合は、ONVIF Profile1にエンコーダー4を設定してください。ただし、パン動作とチルト動作は自動で停止しません。
- ・プリセットポジション名は英数字を使用してください。日本語のプリセットポジション名を設定したプリセットポジションは動作しません。
- ・JPEG使用時、カメラのエンコード設定の、フレームレートが「30」に固定される場合がありますが、VR-X8500上では設定どおりのフレームレートで表示します。
- ・イベント出力端子は使用できません。

[5] VN-U78/VN-U178WPR

- ・フレームサイズ3840x2160のJPEGを使用する場合は、VR-X8500にカメラを登録する前に、カメラのエンコード設定を以下のようにしてください。
エンコードNo.2 : OFF
エンコードNo.3 : OFF
エンコードNo.4 : 5 fps以下
VR-X8500にカメラを登録後、エンコードのON/OFFを変更すると、当該カメラに接続できなくなります。
その場合は、当該カメラをいったん削除してから、再度登録してください。

[6] VN-H58シリーズ/VN-H678シリーズ以外のJVCカメラ

- ・カメラの動き検知、イベント入力端子は使用できません。
動き検知はXProtectの動き検知を使用してください。
イベント入力はジェネリックイベントで代用可能です。

以上